

中学地理 日本の工業・農業・交通（解答）

要点チェック（レベル1）

日本の工業

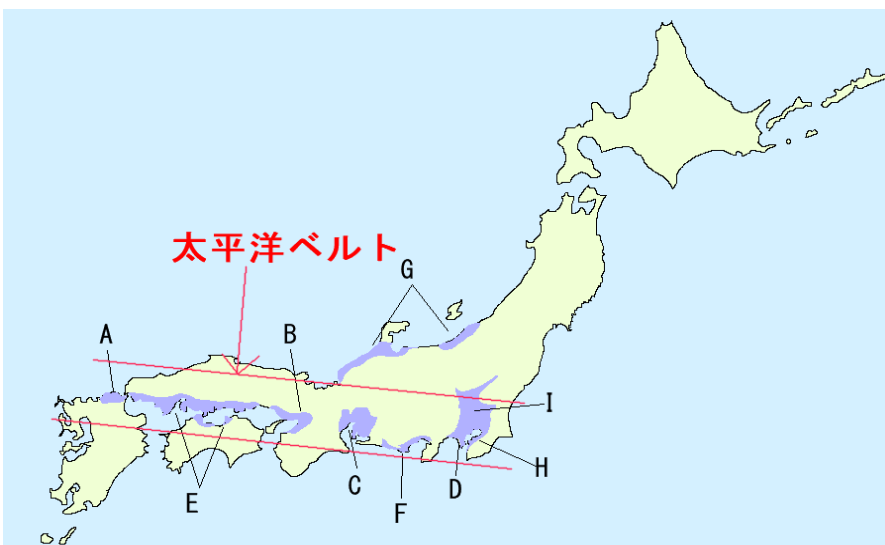
日本の工業は原材料を輸入して製品を輸出する（1 **加工貿易**）で発展してきた。しかし、近年は工場を賃金の安い外国に移転し、国内でものをつくる力が衰える（2 **産業の空洞化**）が心配されている。

工業地帯・地域の特徴

- ・工業地帯：戦前から高度経済成長期に発展したところ
- ・工業地域：高度経済成長期以降に発展したところ
- ・(3 **太平洋ベルト**)：三大都市圏があり、原料や製品の輸送がしやすく、輸入相手国の船が来やすい理由から、工業地帯・地域が集まる一帯。

問、日本の工業地帯・地域 A~I を答えなさい。

工業地帯・地域	特徴
(A 北九州)工業地帯	筑豊炭鉱を生かし八幡製鉄所から始まったが、現在は自動車が主力
(B 阪神)工業地帯	繊維産業から始まり、沿岸部は重化学工業、内陸部は中小企業
(C 中京)工業地帯	工業生産額が日本最大。自動車がさかん。
(D 京浜)工業地帯	東京から横浜に重化学工業が発展。手狭になり工場が北関東に移転。
(E 瀬戸内)工業地域	海上輸送の便がよく石油化学が発達。
(F 東海)工業地域	楽器・オートバイ・自動車など機械工業がさかん。
(G 北陸)工業地域	水と電気が得やすく、機械工業や金属工業が発達。
(H 京葉)工業地域	千葉県の沿岸部で、化学工業が特にさかん。
(I 北関東)工業地域	高速道路が近く、機械工業が発達。



日本の農業・漁業

日本は（4 食料自給率）が低い国である。これは貿易の自由化によって、安い外国産の農産物が輸入されるようになったことなどが、影響している。また、働く人の（5 高齢化）や後継ぎ不足も問題となっている。

（6 第一次産業）には、農業の他に林業と漁業も含まれる。

1970 年代末に（7 排他的経済水域）が設定されてから遠洋漁業が衰退。近年は一定の大きさまで育ててから放流する（8 栽培漁業）や卵・稚魚から出荷するまで人工的に育てる（9 養殖業）が中心。

問、日本の農業方法や漁業方法について、A~F に答えなさい。

A 近郊農業	市場への近さを生かし新鮮なうちに出荷する。千葉・茨城・栃木など
B 促成栽培	冬の暖かい気候を利用して出荷時期を早める。高知・宮崎
C 抑制栽培	夏の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる。長野・群馬
D 施設園芸農業	温室やビニールハウスを利用
E 栽培漁業	一定の大きさまで育ててから、海に放流する
F 養殖業	いけすやいかだを設置して、人工的に魚・貝類を育てる

日本の交通

日本各地には新幹線、高速道路、航空網など（10 高速交通網）が整備されている。外国との人やモノの輸送では、船による海上輸送と飛行機による航空輸送が使い分けられている。

高速道路が整備されたことで、国内の輸送の中心は（11 自動車）になった。高速道路のインターチェンジ付近に（12 工業団地）や流通団地が整備された。

食料自給率、産業の空洞化、排他的経済水域、高速交通網、太平洋ベルト、自動車、養殖業、高齢化、第一次産業、工業団地、加工貿易、栽培漁業、

確認問題

- 問1 原材料を輸入して製品を輸出する貿易のことを何というか。
- 問2 工場を賃金の安い外国に移転することで、国内でものをつくる力が衰えることを何というか。
- 問3 日本の主な工業地帯・地域が集中している、関東地方から九州北部の沿岸地域のことを何というか。
- 問4 愛知県を中心に形成されている工業地帯を何というか。
- 問5 東京から神奈川に形成されている工業地帯を何というか。
- 問6 インターネットの普及で発達した情報通信技術を何というか。
- 問7 鉱工業と建設業は、第何次産業とよばれているか。
- 問8 国内で消費する食料のうち国内の生産でどれくらいまかなえているかを示す割合を何というか。

- 1 加工貿易
- 2 産業の空洞化
- 3 太平洋ベルト
- 4 中京工業地帯
- 5 京浜工業地帯
- 6 ICT
- 7 第二次産業
- 8 食料自給率

- | | |
|--|-------------|
| 問9 日本の8のうちで比較的に割合が高いものを1つ選びなさい。
ア 小麦 イ 野菜 ウ 肉類 エ 果物 | 9 イ |
| 問10 新幹線・高速道路・航空網などをまとめて、何というか。 | 10 高速交通網 |
| 問11 外国との間で、石油・鉄鋼・自動車など重くてかさばるものは、主に何を使って運ばれるか。 | 11 船（船舶） |
| 問12 軽くて高価な電子部品や新鮮さが重要な野菜・生花などは、主に何で運ばれるか。 | 12 飛行機（航空機） |
| 問13 日本国内の貨物輸送で50%以上は何で運ばれているか。 | 13 自動車 |

要点チェック（レベル2）

日本の工業

（1 **太平洋ベルト**）：関東から九州北部にかけて工業が発展している一帯

工業団地：空港や高速道路のインターチェンジ近くに多い。

1960年代まで原料を輸入して製品を輸出する（2 **加工貿易**）がさかんだったが、その後賃金の安い海外に工場を移転し、（3 **産業の空洞化**）が起こる。

日本の農業

農家1戸あたり約2.5ha（アメリカの約70分の1）で、せまい。

小規模な自作農で、農業以外の仕事もする（4 **兼業農家**）が多い。

貿易自由化で外国からの安い農産物に押され、（5 **食料自給率**）が低い。

栽培方法

（6 **近郊農業**）：市場への近さを生かし新鮮なうちに出荷する。千葉・茨城・埼玉

（7 **促成栽培**）：冬の暖かい気候を生かし出荷時期を早める。高知・宮崎

（8 **抑制栽培**）：夏の涼しい気候を生かして出荷時期を遅らせる。長野

（9 **施設園芸農業**）：温室やビニールハウスを利用。

漁業

（10 **排他的経済水域**）が沿岸から200海里と設定されてから、遠洋漁業が衰退。

（11 **栽培漁業**）：稚魚を育てて海に放流する

（12 **養殖業**）：出荷できる大きさまでいかだやいけすで育てる

日本の商業・サービス業

（13 **第三次産業**）：モノの生産に関わらない産業。全労働者の70%以上にあたる

サービス業：近年は、情報通信、福祉、医療が増加

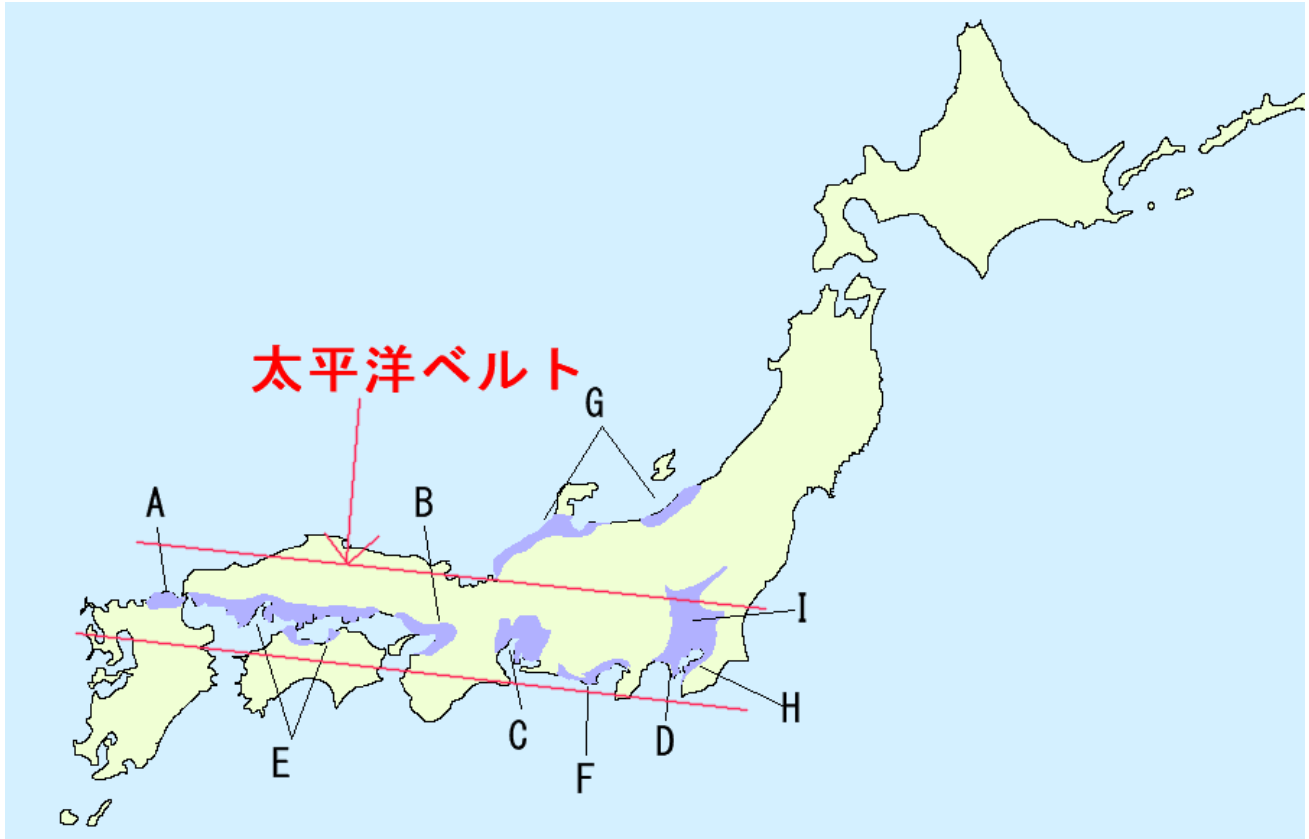
日本の交通

（14 **高速交通網**）：高速道路・新幹線で全国の主要都市が結ばれ、移動時間が大幅に短縮

産業の空洞化、食料自給率、施設園芸農業、栽培漁業、第三次産業、高速交通網、太平洋ベルト、抑制栽培、促成栽培、養殖業、加工貿易、兼業農家、排他的経済水域、近郊農業、

基本問題（レベル3）

・日本の工業地帯・地域について、A～Iにあてはまる名称を答えなさい。



- A(北九州工業地帯) B(阪神工業地帯) C(中京工業地帯) D(京浜工業地帯)
E(瀬戸内工業地域) F(東海工業地域) G(北陸工業地域) H(京葉工業地域)
I(北関東工業地域)

・日本の農業方法と漁業方法について、次の語句の意味を説明しなさい。よく問われます。

- 1 促成栽培 (冬の暖かい気候を利用して出荷時期を早める栽培方法)
2 抑制栽培 (夏の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる栽培方法)
3 近郊農業 (市場への近さを生かし新鮮なうちに出荷する農業)
4 栽培漁業 (稚魚や稚貝を一定の大きさまで育ててから海に放流する漁業)
5 養殖業 (いけすやいかだで人工的に魚や貝を育てる漁業)